危険な白タク ライドシェア

被害を受けるのは利用者



強盗や性犯罪など

事件・事故が多発

　いま、「ライドシェア」という名の自家用車を使った無許可タクシーを合法化しようという危険な動きが進んでいます。

　これは、アメリカ発祥のビジネスで、スマホアプリを介して自家用車のドライバーと移動したい利用者をマッチングさせるサービスです。日本では、タクシーの営業資格を持たない一般ドライバーが運賃をもらって目的地に人を運ぶことは「白タク」行為として法律で禁止されています。

ライドシェアには、安心・安全を守るためにタクシーで義務付けられているルールがありません（下表）。そのため、目的地に着か



|  |  |
| --- | --- |
| *自 交 総 連*タクシー・ハイヤー、バス、自動車教習所の労働組合 | 〒110-0003　東京都台東区根岸2-18-2-201tel:03-3875-8071 email:info@jikosoren.jpホームページ　自交総連**←**検索 |

ない、事故に巻き込まれても、どこの会社からも保障がされないなどの危険性があります。

　また、ライドシェアを利用することで、アプリ経由での個人情報の漏洩や、自家用車のドライバーに住所を把握される不安もあり、導入されている諸外国では強盗や性犯罪が多発しています。被害を受けるのは利用者です。

利用したい時間や場所で、誰でも不安な思いをせずに乗れるものが地域公共交通である

タクシーです。

私たち自交総連は、利用者が求めているのはルールなき白タク＝ライドシェアではなく、タクシーの充実であると確信を持っています。

ライドシェアに反対し、安心・安全なタクシーを守る活動にご賛同ください。

****

　国会では、タクシー会社以外の企業が白タク事業に参入できるようにする法律（ライドシェア新法）についての議論がさかんに行われています。

政府会議では、直近に個人情報漏洩の問題を起こしたばかりのLINEヤフー社の会長らが、ライドシェア全面解禁を強行に求めています。

国民の利益も、ドライバーの権利も捨て置き、自社が空前の利権を得るためにビジネスを自由に行わせよという身勝手な主張です。

お金儲けのための危険な白タク＝ライドシェアなんて日本にいりません。

みんなで反対の声を広めましょう。

**ライドシェア新法へ警戒**

今年４月開始の「日本型ライドシェア」というサービスは、タクシー会社管理のもとで行う白タク事業です。

これは、海外の「ライドシェア」と同様、安全運行へのチェックが甘いなどの懸念があります。

このような輸送は、「ライドシェア」というビジネスのポジティブ・キャンペーンと実績づくりに繋がり、白タク全面解禁を後押しします。

自交総連は、「日本型ライドシェア」のみならず、安心・安全を無視した無秩序なすべての白タク導入に断固として反対しています。

**地域公共交通に支援を**

　日本のタクシーは、深夜でも女性や子供が一人で乗車できる世界に誇れる安心・安全な乗り物です。バスや電車などのない地域の人たちには、タクシーが最後の交通手段となっています。また、一部の観光地では、時間帯によってタクシー利用が集中してしまうオーバーツーリズム（観光公害）が発生しています。

デマンドタクシー・バスへの助成金の増額など、住民の移動の足を守る地域公共交通確保のとりくみを充実させることが重要です。

持続的に運行でき、住民にとって、便利で使い勝手がよいものとなるよう地域公共交通へさらに税金を投じるべきです。

**悪天候時に運賃が数倍に**

**「日本型ＲＳ」も危険**

　電車やバスが止まった時でも、最終的な地域公共交通としてタクシーは利用者を輸送します。

自然災害が多い日本では、タクシーが最後の移動手段になることがあります。東日本大震災の時には、タクシーは燃料が切れるまで被災者の避難と救援に走りました。

一方ライドシェアは、ドライバーの都合で走るので、悪天候時に利用すれば運賃がタクシーの数倍に高騰するだけでなく、呼んでも来ない可能性すらあります。

ライドシェアは、タクシーの代わりになりません。

タクシーは住民の足を守る地域公共交通

**ライドシェアはタクシーの代わりにならない**